

# 安全データシート

作成日 2006年 7月 1日  
改訂日 2017年 2月 8日

## 1. 製品及び会社情報

製 品 名	サンデックス用ゲル化促進剤
会 社 名	オバナヤ・セメントックス株式会社
住 所	三重県いなべ市北勢町東村 1339
電 話 番 号	0594-72-6488
F A X 番 号	0594-72-6253
担 当 部 門	製造部 工場管理課
整 理 番 号	M1104

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

火 薬 類:	分類できない
可燃性/引火性ガス:	分類対象外
可燃性/引火性エアゾール:	分類対象外
支燃性/酸化性ガス:	分類対象外
高 圧 ガ ス:	分類対象外
引 火 性 液 体:	分類できない
可 燃 性 固 体:	分類対象外
自己反応性化学品:	分類できない
自然発火性液体:	分類できない
自然発火性固体:	分類対象外
自己発熱性化学品:	分類できない
水反応可燃性化学品:	分類できない
酸化性液体:	分類できない
酸化性固体:	分類対象外
有機過酸化物:	分類できない
金属腐食性物質:	分類できない
急性毒性	
経 口:	分類できない
経 皮:	分類できない
吸 入 ( ガ ス ):	分類対象外
吸 入 ( 蒸 気 ):	分類できない
吸入(粉塵、ミスト):	分類できない
皮膚腐食性/刺激性:	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/ 刺激性:	分類できない
感作性	
呼 吸 器:	分類できない
皮 膚:	分類できない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発 がん 性:	分類できない
生 殖 毒 性:	分類できない
特定標的臓器/ 全身毒性(単回暴露):	分類できない
特定標的臓器/ 全身毒性(反復暴露):	分類できない
吸引性呼吸器有害性:	分類できない
水生環境	
急 性 有 毒 性:	区分3
慢 性 有 毒 性:	区分2
オゾン層への有害性:	分類できない

GHSラベル要素



危険有害性情報: 水生生物に有害  
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き: <<安全対策>>  
環境への放出を避けること。  
<<救急処置>>  
漏出物を回収すること。

<<廃棄>>

内容物や容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

GHSに該当しない他の危険有害性

有害性: 眼に入ると刺激がある。  
継続的な皮膚接触により炎症を起こす場合がある。

環境影響: 河川・湖沼等に流入すると広範囲にわたり白濁させる。

物理的及び化学的危険性: そのまま(ラテックス)の状態では燃焼しないが、製品乾燥物は可燃性である。  
通常の手扱いは、火災の危険性は低い。

重要な兆候: 特になし

想定される非常事態の概要: 特になし

3.組成・成分情報

化学物質・混合物の区分: 混合物

化学名又は一般名: ブタジエン・スチレン系共重合体(ラテックス)

化学式: <ブタジエン・スチレン系共重合体(ラテックス)> <水>  
-(C<sub>4</sub>H<sub>6</sub>)<sub>m</sub>-(C<sub>8</sub>H<sub>8</sub>)<sub>n</sub>- H<sub>2</sub>O

濃度又は濃度範囲:

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号		CAS番号
		化審法	安衛法	
スチレン・ブタジエン共重合体	35 ~ 45%	(6)-134	公表化学物質	非公開
水	45 ~ 55%	該当しない	該当しない	7732-18-5
不均化ロジンのカリウム塩	1 ~ 10%	7-941	公表化学物質	61790-50-9
不均化トル油のカリウム石鹸	0.1 ~ 3%	7-973	公表化学物質	61790-44-1

法規制対象成分:

成分	安衛法	PRTR法
スチレン・ブタジエン共重合体	表示対象物／通知対象物に該当しない	指定化学物質に該当しない
水	表示対象物／通知対象物に該当しない	指定化学物質に該当しない
不均化ロジンのカリウム塩	表示対象物／通知対象物に該当しない	指定化学物質に該当しない
不均化トル油のカリウム石鹸	表示対象物／通知対象物に該当しない	指定化学物質に該当しない

GHS分類に寄与する不純物  
及び安定化添加物: 特になし

4.応急措置

吸入した場合: ラテックスは水を分散媒体とした揮発性の低い水性液体で吸入の可能性は少ない。  
もし気分が悪くなった時は、空気の清浄な場所に移り安静にする。

皮膚に付着した場合: 直ちに接触部位を流水で15分以上充分洗浄する。

眼に入った場合: 直ちに流水で15分以上充分洗浄し、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合: 多量の水を飲ませ吐かせる。その後、医師の手当てを受ける。

最も重要な徴候及び症状: 特になし

## 5. 火災時の措置

- 消火剤：水、炭酸ガス、ドライケミカル等一般消火剤。  
 使ってはならない消火剤：特になし  
 特有の消火方法：製品乾燥物に着火した場合は、注水・水噴霧・ドライケミカル等一般消火剤を使用し消火作業は風上から行う。  
 消火を行なう者の保護：適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項/  
 保護具及び緊急時措置：出来るだけ直接皮膚に触れないようにし、保護手袋(ゴム又は樹脂製)保護眼鏡(ガラス又は樹脂製のゴーグルタイプ)、長靴(ゴム製)を着用する。  
 環境に対する注意事項：ラテックスは河川・湖沼等に流入すると少量でも広範囲にわたり汚濁させる。河川・湖沼等公共水域及び下水への流入は絶対に避ける。流入してしまった場合、流入した河川から飲料水を取水している場合、流れ去るまで取水を中止してもらう。  
 封じ込め及び浄化の方法・機材：少量の場合、乾燥砂・オガクズ・ウエス等に吸収させ回収する。多量の場合、まず、土嚢や周囲にある土砂等で拡散を防止し、塩化カルシウムで凝集固化させて回収する。  
 <参考：塩化カルシウムによる凝集固化の方法>  
 約10%の塩化カルシウム水溶液を作り、漏出したラテックスに散布し攪拌する。散布量が少ないと凝集しないことがあるので、その場合は散布量を増やす。緊急を要する場合は、塩化カルシウムを固形のまま散布しても凝集固化させることが出来る。  
 二次災害の防止策：特になし

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意：容器から漏出させないようにし、保護手袋・保護眼鏡を着用する。  
 保管上の注意：禁水性物質と同一場所での保管は避ける。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策：出来るだけ密閉された装置・機器を使用する。取扱い場所は換気を良くする。取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設置することが望ましい。  
 管理濃度及び許容濃度：設定されていない  
 保護具  
 眼の保護具：保護眼鏡を使用する。ガラス又は樹脂製のゴーグルタイプが良い。  
 手の保護具：保護手袋を使用する。ゴム又は樹脂製が望ましい。  
 呼吸器の保護具：必要に応じて保護マスクを使用する。  
 皮膚及び身体の保護具：保護衣を着用する。厚手の布製で長袖、長ズボンを着用することが望ましい。  
 適切な衛生対策：作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 形状：液体  
 色：乳白色  
 臭い(臭いの閾値)：殆どしない  
 p H：10.0  
 融点 / 凝固点：製品 0°C  
 沸点：製品 100°C  
 水 100°C  
 初留点：データなし  
 沸騰範囲：データなし  
 引火点：データなし  
 自然発火温度(発火点)：データなし

燃 烧 性 ( 個 体 ・ ガ ス ) : データなし  
 燃 烧 又 は 爆 発 範 圍 ( 下 限 ) : データなし  
 燃 烧 又 は 爆 発 範 圍 ( 上 限 ) : データなし  
 蒸 気 圧 : データなし  
 蒸 気 密 度 : データなし  
 蒸 発 速 度 : データなし  
 比 重 及 び 密 度 : 製品 1.0g/cm<sup>3</sup>  
 水 1(比重)  
 溶 解 性 : 製品 水と任意の比率で混合分散する  
 オクタノール／水分係数 : 製品 データなし  
 分 解 温 度 : データなし  
 粘 度 : データなし  
 そ の 他 の デ ー タ : 特になし

## 10.安定性・反応性

安 定 性 : 通常の保管・取扱い条件で安定。  
 危 険 有 害 反 応 可 能 性 : 通常の保管・取扱い条件で安定。  
 避 け る べ き 条 件 : 禁水性物質との同一場所での保管は避ける。  
 混 触 危 険 物 質 : 特になし。  
 危 険 有 害 な 分 解 生 成 物 : 特になし。

## 11.有害性情報

急 性 毒 性 :  
 皮 膚 腐 食 性 / 刺 激 性 : データなし  
 眼 に 対 す る 重 篤 な 損 傷 /  
 刺 激 性 : データなし  
 呼 吸 器 感 作 性 : データなし  
 皮 膚 感 作 性 : データなし  
 生 殖 細 胞 変 異 原 性 : データなし  
 発 がん 性 : データなし  
 生 殖 毒 性 : データなし  
 特 定 標 的 臓 器 /  
 全 身 毒 性 ( 単 回 暴 露 ) : データなし  
 特 定 標 的 臓 器 /  
 全 身 毒 性 ( 反 復 暴 露 ) : データなし  
 吸 引 性 呼 吸 器 有 害 性 : データなし

## 12.環境影響情報

生態毒性

魚 類 :

製品	10 ~ 100 mg/l(96h)	ヒメダカ (LC <sub>50</sub> )	製品試験結果
----	--------------------	--------------------------	--------

甲 殻 類 :

製品	10 ~ 100 mg/l(48h)	オオミジンコ (EC <sub>50</sub> )	製品試験結果
----	--------------------	----------------------------	--------

藻 類 :

製品	>100 mg/l(72h)	藻類 (EC <sub>50</sub> )	製品試験結果
製品	1.0 mg/l L mg/l	藻類 (NOEC)	製品試験結果

残留性 / 分解性: データなし  
生体蓄積性: データなし  
土壌中の移動性: データなし  
オゾン層への有害性: データなし  
他の有害影響: 知見のない項目が多いので、一般環境内への廃棄は行なわない。

---

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。  
ラテックスをそのままの状態では絶対に廃棄しない。  
ラテックスをそのままの状態一般環境内に廃棄すると、河川・湖沼・地下水等を汚染する可能性がある。  
塩化カルシウムで凝集固化させた後焼却する。

汚染容器: 内容物を完全に除去した後に都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

---

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

国連分類: クラス 9  
国連番号: 3082  
品名(国連輸送品名): 環境有害物質(液体)N. O. S  
容器等級: 包装等級3  
海洋汚染物質: 海洋汚染物質

国内規制: 適用法令を参照  
特別の安全対策: 特になし  
輸送の特定の安全対策  
及び条件: 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。  
容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

---

### 15. 適用法令

〈製 品〉 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

---

### 16. その他情報

本データシートは作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。

---